

シヨウキ T-1 のエビデンス

1. 抗 C 型肝炎ウイルス作用
2. 抗 HSV- 効果についてアシクロビルと比較
3. タンポポ T-1 糖鎖の胆汁分泌促進作用
4. インスリン分泌機能がないラットの血糖降下作用
5. 食後の血糖値上昇を抑制する
6. 血圧をコントロールする
7. 毛細血管循環改善作用
8. 利尿作用
9. 視床下部、下垂体機能の活性化
10. 排卵率が上がる
11. 下垂体内の LH、FSH 量を増加させる
12. 性ホルモンに対する影響
13. 卵胞ホルモン、黄体ホルモンの変化
14. タンポポ T-1 はアナボリックステロイド剤使用時の副作用を抑制する
15. タンポポ T-1 は血中の乳酸値を下げる効果がある
16. ET - 1 誘発兔眼循環障害モデル使用によるタンポポ T - 1 の研究
17. 36 名 C 型肝炎患者
18. シヨウキ T-1 の不妊治療への意義

参考

谷口眼科 長谷川医師の話

1.抗 C 型肝炎ウイルス作用

大阪大学微生物研究所

白木公康 邵輝 1990年

臨床肝生検によって取り出された肝組織を用いて、タンポポ T-1 抽出物を入れた場合と入れない場合を比較しました。1週間培養を行いました。PCR 法検査によりタンポポ T-1 添加の場合は C 型肝炎ウイルスが抑制されたことを認めました。

		PCR 法によりウイルス検査	
C 型肝炎患者肝臓組織	培養前	培養液のみ 1 週間培養	培養液 + タンポポ T-1 抽出物 250 μ g/mL
T.M	検出	検出せず	検出せず
K.Y	検出	検出	検出せず
H.H	検出	検出	検出せず
F.S	検出	検出	検出せず
F.Y	検出	検出	検出せず

2.抗 H S V- 効果についてアシクロビルと比較

兵庫医科大学医学部 奥野寿臣 助教授
ウイルス 100 個を Vero 細胞に接種し、タンポポ T-1 投与群、アシクロビル投与群でのウイルスの個体数を比較した。

タンポポ T - 1 濃度 (μ g/ml)	タンポポ T-1 投与群	アシクロビル	ウイルス個体数
1000	0	0	100
500	10 以下	0	120
250	40 以下	0	105
100	80 以下	0	112

マウスに経口投与薬抗ウイルス効果について実験を行った。

マウスに $2.5 \times 10^5 / 0.1\text{ml}$ の HSV-1 ウイルスを用いて、接種した。

投与薬	投与量(mg/kg 毎日)	生存匹	生存日数
生食水	1ml	0 / 8	7
タンポポ T - 1	500	7 / 9	10
タンポポ T - 1	50	4 / 8	10

第 54 回日本ウイルス学会学術集会要旨
2006 年 11 月 19 日 (日) ~ 21 日 (火)

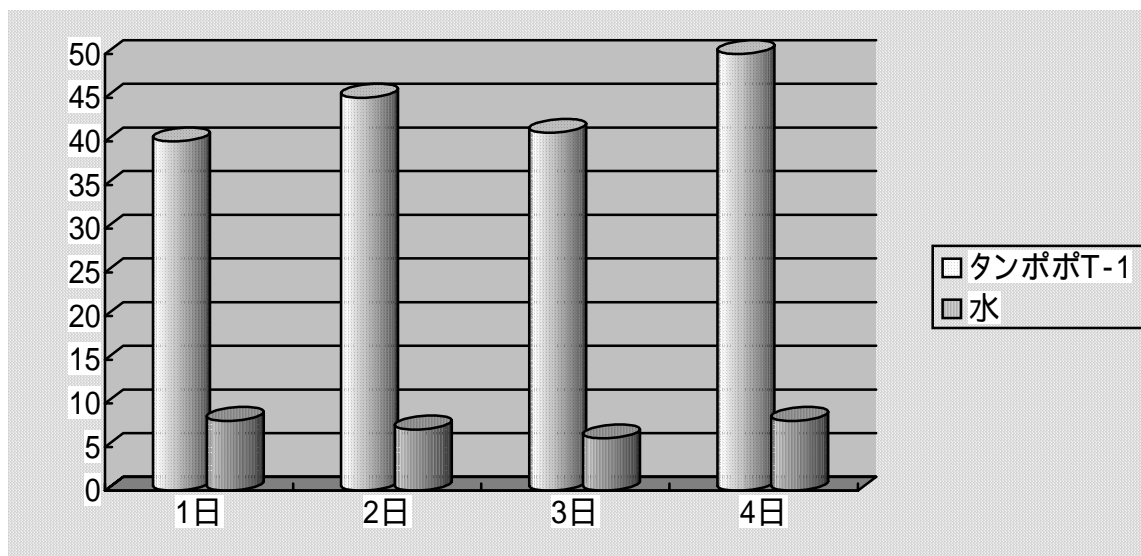
3. タンポポ T-1 糖鎖の胆汁分泌促進作用

大阪大学微生物研究所

邵輝 1991年

タンポポ T-1 及び水道水をラットにそれぞれ 10 匹づつに飲ませました ($5 \mu\text{g}$)。4 日間ラットの糞中 Bile Acid (胆汁酸) の測定を行った。タンポポ T-1 を飲ませたら

ラット糞中 Bile Acid (胆汁酸) の上昇を認めた。これにより肝臓での代謝能力が向上したことがわかる。



4.インスリン分泌機能がないラットの血糖降下作用

大阪大学微生物研究所
 邵輝 2004年

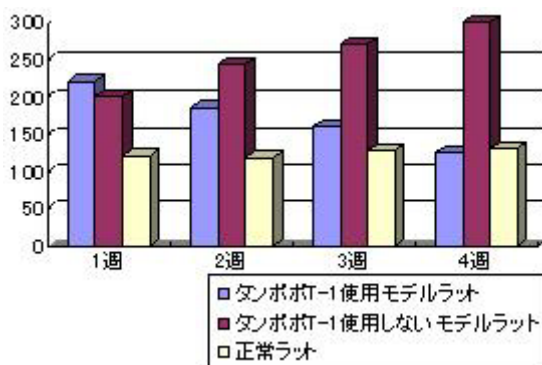
我々が行ったタンポポT-1の動物実験において、ラットにストレプトゾトシンを注射してラットの膵臓のインスリン分泌機能を破壊することにより糖尿病を発症させ、その後タンポポT-1を飲ませた。

モデルの血糖値平均は4週間で200mg/dlから125mg/dlになり有意な低下が見られ、ストレプトゾトシンを処置しないラットの血糖水準になった。

タンポポT-1を飲ませない組は、インスリンがないためラットの血糖値がどんどん上がり、4週間後には300mg/dl近くにまで上昇した。失明や脱毛がおこり、数匹が死亡した。

この動物実験により、タンポポT-1に血糖値を下げる効果があることが科学的に証明された。

よって、インスリン分泌低下または分泌が見られない患者に対して効果が期待できる。また、慢性の高血糖状態に対して効果が期待できる。



5.食後の血糖値上昇を抑制する

神戸東洋医療学院
 邵輝 早川敏弘 2004年

健常な成人男女を10名ずつ、食後30分後にタンポポT-1を飲むグループと飲まないグループの2組に分けてそれぞれの血糖値を測定したところ、タンポポT-1の血糖値を下げる効果が証明された。

実験結果：

実験対象	測定血糖値の平均値
タンポポT-1を飲むグループ	120 mg/dl
タンポポT-1を飲まないグループ	131 mg/dl

6.血圧を降下作用

牧老人保健施設
 牧典彦 医師 2003年

タンポポT-1は糖尿病患者の血圧を下げ、末梢血管を拡張することで血管障害を予防する。10人の糖尿病患者がタンポポT-1を3ヶ月使用した結果を以下にまとめる。

	使用前	使用后	有効例
血圧平均値	160/100mmHg	144/84mmHg	10 / 10

網膜症患者5人においては出血、炎症が改善した。(5 / 6)

末梢神経障害による手足シビレが10人中10名で改善した。

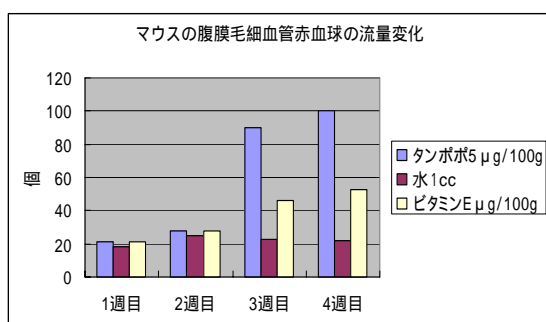
腎障害患者4人について蛋白尿、尿窒素値が改善した。(4 / 4)

7.毛細血管循環改善作用

大阪大学微生物研究所

邵輝 1990年

タンポポ T-1 と水・ビタミンE それぞれを投与し、マウスの腹膜細胞血管赤血球の流れを測定すると、3週間目よりタンポポ T-1 を投与した血液量が水に比べ4倍以上高くなっています。臨床において、末梢血流を良くすることが証明されております。



腎臓には多量の血液が流れており、特に血液を濾過して尿を作る糸球体は毛細血管の塊です。血液がドロドロだと腎臓の負担が大きくなります。最近、急性腎炎や腎不全が増えています。これらは体の解毒が十分にできていないため、腎臓の解毒機能がさらに低下するという悪循環に陥っているからです。腎臓の働きを活性化するためには、体の解毒を助けてやること、そして血流改善が大切です。

タンポポには利尿作用があり、腹膜の血流を改善しますので、腎臓病には大変適しています。

8.利尿作用

牧老人保健施設

牧典彦 2002年

罹患している病気が異なる四名の患者さんの尿量を測定したところ、タンポポを飲用後、

全員の尿量が増えました。

氏名	病名	尿量 (タンポポ使用 前)	排尿回数 (使用 前)	尿量 (使用 後)	排尿回数 (使用後)
A.Y.	慢性腎炎	600ml	25回	1200ml	24回
T.M.	肝硬変	1000ml	10回	1600ml	14回
I.Y.	関節炎	1200ml	18回	1500ml	12回

私たちは体の中の老廃物や細菌を尿や便、汗の形で体外に排出します。ですから、尿がしっかりと出ないと解毒ができなくなってしまいます。この場合の尿量の増加は、体内の余分な水が排泄されたことを意味しています。

9. 視床下部、下垂体機能の活性化

大阪大学微生物研究所

邵輝 1999年 ライフサイエンス掲載

タンポポ T - 1 の幼若ラットにおける排卵に対して効果を示した。自然の周期であれば、生後 38 日目に排卵が認められる Sprague-Dawley 系雌幼若ラットを使用する。

生後 25 日から 31 日までタンポポ T - 1 を単独で 1 週間投与したもの
生後 25 日から 31 日までタンポポ T - 1 と human menopausal gonadotropin (hMG) を併用して 1 週間投与したもの
hMG を単独投与したものにおいて、それぞれ排卵をみた。

【結果】

タンポポ T - 1 単独投与では 54% に排卵が認められた。
hMG との併用投与では 89% に排卵が認められた。

hMG 単独投与では 65%に排卵が認められた。

これらの事実はタンポポ T - 1 が直接または間接的に視床下部、および下垂体機能を活性化することを示唆している。

10. 排卵率が上がる

大阪大学微生物研究所

邵輝 1999年

生後 38 日目よりラットに体重 1kg あたり 36mg のショウキ T-1 を連日経口投与し、両側卵管内の卵子数を顕微鏡で確認しました。

結果は、ショウキ T-1 投与群の排卵は、対照群と比較して 20%の上昇が認められました。

11. ショウキ T-1 は下垂体内の LH、FSH 量を増加させる

大阪大学微生物研究所

邵輝 1999年

体重 1kg あたり 36mg のショウキ T-1 をマウスに連日経口投与したところ、下垂体内の LH、FSH について生後 29 日で変化が認められました。

血中 LH は対照ラットの 0.75ng/ml に対して、ショウキ T-1 を投与したラットは 1.1ng/ml でした。

また、血中 FSH は対照ラットが 1.1ng/ml であったのに対して、ショウキ T-1 を投与したラットは 5ng/ml であり、どちらも有意な増加が認められました。

これらの実験より、ラットにおけるショウキ

T-1 の排卵促進作用が認められました。視床下部内 LH-RH の増加、下垂体内 LH、FSH の増加が認められ、作用部位は、視床下部 - 下垂体系が考えられます。

12. 性ホルモンに対する影響

神戸東洋医療学院 邵輝

工藤クリニック 工藤卓

天津中医薬大学 高秀梅 宋新波

産業医科大学 柳原 延章

生殖期に相当する女性 58 名に対し、たんぽぽ T-1、1日 36mg を投与し、服用前及び服用 3 ヶ月後に同一性周期における卵胞刺激ホルモン (FSH)、泌乳ホルモン (プロラクチン; PRL)、卵胞ホルモン (エストラジオール; E2)、黄体ホルモン (プロゲステロン; P) の変動を検討した。

【結果】

検査項目	58人中 上昇人数 (人)	上昇率
卵胞刺激ホルモン (FSH)	30	51.7%
黄体化ホルモン (LH)	36	62.1%
卵胞ホルモン (E2)	43	74.1%
黄体ホルモン (P)	21	36.2%

卵胞刺激ホルモン (FSH) 値は 58 人中 30 人 (51.7%) で上昇した。

黄体化ホルモン (LH) 値は 58 人中 36 人 (62.1%) で上昇した。

卵胞ホルモン（エストラジオール：E2）値は58人中43人（74.1%）で上昇した。

黄体ホルモン（プロゲステロン：P）値は58人中21人（36.2%）で上昇した。

または生理痛、冷え症などの自覚症状の改善が58人に55人（94.8%）でみられ、自覚症状が大きいものほどこの傾向が多く認められた。これは、末梢循環が改善されたことによる結果だと考えられる。

13. 卵胞ホルモン、黄体ホルモンの変化

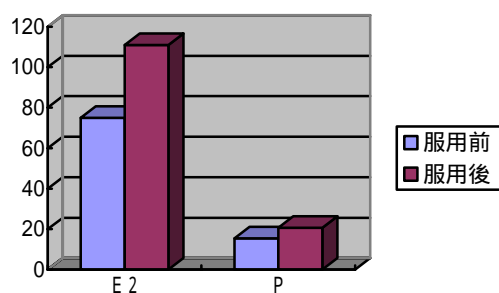
神戸東洋医療学院 邵輝

工藤クリニック 工藤卓

天津中医薬大学 高秀梅 宋新波

産業医科大学 柳原 延章

【タンポポT-1服用前と服用3ヶ月後の卵胞ホルモン、黄体ホルモンの変化】



	E2	P
服用前	75	15.5
服用後	111	20.7

図2.

図2. 卵胞ホルモン（エストラジオール：E2）43人平均36mg/mlを上昇した。黄体ホルモン（プロゲステロン：P）は21人平均5.2ng/ml上昇を認められた。

14. タンポポT-1はアナボリックステロイド剤使用時の副作用を抑制する

高尾動物病院

アナボリックステロイド投与によって成熟したウマの繁殖機能に及ぼす影響（副作用）を明らかにするために、サラブレッド雄ウマに、代表的なアナボリックステロイド製剤であるデカン酸ナンドロロンを、3週間隔で3ヶ月間に渡り投与を行った。初回投与後、インヒピン、テストステロン、黄体形成ホルモン（LH）の血中濃度が急速に減少し、投与後1週目からタンポポT-1を投与した。

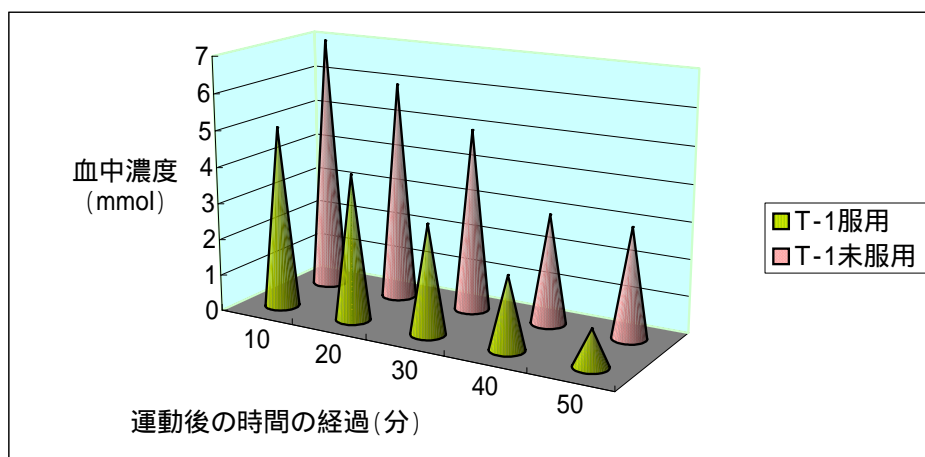
3ヶ月後に各ホルモン濃度をそくていすると、タンポポT-1を使用した雄ウマは有意にホルモンバランスに異常は見られなかった。タンポポT-1はアナボリックステロイド剤使用による副作用を抑制することを認めた。

アナボリックステロイドは男性ホルモンであるテストステロンの合成誘導体であり、男性化作用を抑え、蛋白同化作用を増加させるように作られている。古くからウマで用いられている一般的なアナボリックステロイド剤は（ナンドロロン）製剤で、臨床治療、成長促進および運動能力の改善に広く使用されている。アナボリックステロイドの長期間もしくは大量投与は、フィードバック機構により雄の繁殖機能に悪影響を及ぼすことが知られており、精巣の萎縮や精子数の減少などが報告されている。これらの副作用は、アナボリックステロイドにより、下垂体性腺刺激ホルモンである黄体形成ホルモン（LH）および卵胞刺激ホルモン（FSH）の分泌が抑制された結果、精巣機能が低下するために生じると考えられている。

15. タンポポ T-1 は血中の乳酸値を下げる効果がある

高尾動物病院

トレーニングの急走直後に測定したデータにより、タンポポ T-1 を使用している馬が一般馬より、血中の乳酸値が低い傾向にある。乳酸はエネルギーを生成するプラスの面と筋肉疲労の原因になるマイナスな面を持った物質である。一般に競走馬では成績の良い馬は悪い馬より乳酸値が低い傾向にあるという。乳酸値が低いということは体内の代謝能力が高いということで、血中の不純物を活発に排泄できる、疲れにくい体質に改善されたと考えられる



時間(分)	10	20	30	40	50
乳酸濃度 (mmol/l) T-1服用	5	4	3	2	1
T-1未服用	7	6	5	3	3

16. ET - 1 誘発兔眼循環障害モデル 使用によるタンポポ T - 1 の研究

大阪医科大学 眼科教室 長谷川治彦医師

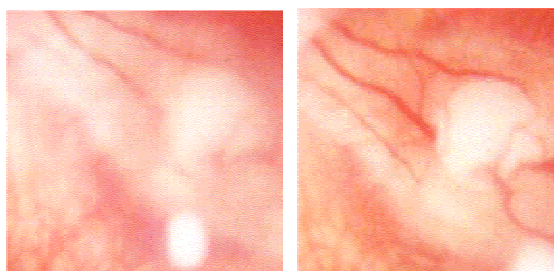
緑内障患者は血中濃度が健常者より高値であるとの報告や、網膜静脈閉塞症への関

与から、ET - 1 は臨床的にも注目されている。

さらに ET - 1 は、眼圧には影響を及ぼ

さずに視神経乳頭血流のみを低下させることから、ET - 1 の投与モデルは正常眼圧緑内障の病態モデルとして評価されている。

今回、タンポポ T - 1 の経口投与が ET - 1 誘発の兔眼循環障害モデルにどのような影響を及ぼすかについて検討した。



タンポポ投与前

タンポポ投与後

より臨床に近い形で ET - 1 を投与し、視神経乳頭の血流減少、ET - 1 誘発兔眼循環障害モデル緑内障を作成した。

視神経乳頭血流減少をこの状態からタンポポ T - 1 を投与した群では、投与 1 時間後より視神経乳頭血流量が増加傾向を示し、投与 3 ~ 5 時間後では有意な増加を示した。

また、正常兔でもタンポポ T - 1 による血流増加を有意に確認することができた。

臨床結果

8 人の緑内障患者または 6 人の眼圧が高い傾向にある患者にタンポポ T - 1 を投与し、眼圧低下や眼底血流改善を確認した。

使用方法

毎日 2 袋以上を勧めるが、1 袋でも効果がある。個人差がある。

結論

以上のデータから長谷川医師は、「ET -

1 誘発兔眼循環障害モデルにおける視神経乳頭血流量減少をタンポポ T - 1 が抑制することが示されたことから、臨床における緑内障患者へのタンポポ T - 1 の治療効果が裏付けられた。またはタンポポ T - 1 が血流の改善作用を示すことが考えられた。」と結論している。

さらに同医師は今後の展望として、「タンポポ T - 1 の使用により緑内障を改善して手術の負担を減らし、眼圧が高い患者や緑内障患者にタンポポ T - 1 の使用を勧めたい」と述べている。

現在多くの老人健診や人間ドックで行われる眼底検査では、視神経乳頭検査をあまり詳細に行っていないために、正常眼圧緑内障を見逃すことが多く、確実に正常眼圧緑内障を発見しようとするならば、眼科でしっかりとした眼底検査を受けることが必要である。将来、一般健診でより詳細な視神経乳頭検査が行われるようになれば、正常眼圧緑内障の早期発見率は現在より飛躍的に向上するであろうと思われる。

いずれにしても、40 歳を過ぎたら一度、眼科で緑内障の検診を受けることを勧める。特に、自分で視野欠損を含むなんらかの視覚異常を感じたら、積極的に眼科での検査を受診する必要がある。検査を受けることにより、緑内障以外の眼疾患が発見されることもある。

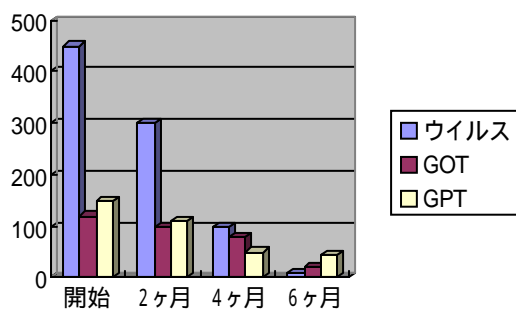
17. 36 名 C 型肝炎患者

東西医学融合研究会 1990 年 ~

36 名 C 型肝炎患者をまとめた結果は約 65% の人は C 型肝炎ウイルス及び GPT を下げることを観られました。治療期間は 6 ヶ月、タンポポ T - 1 の使用量は 1 から 3 袋です。基

本的に毎日朝空腹で1袋を飲みます。

有効例のGPT、GOT及びウイルス量の変化の平均値は下記の図にしるしました。患者は高いウイルス値を持ったもの或いはインターフェロン治療の効果がないの人が中心です。



ショウキ T-1 の不妊治療への意義

野崎利晃¹

邵輝²

徳潤有限会社¹

神戸東洋医療学院²

【目的】

ショウキ T-1 はたんぽぽの成分であり、現在清涼飲料水として商品化されている。主成分であるたんぽぽの葉は、利尿薬¹⁾として用いられ、体内の水分を減らすことによって高血圧を改善する効果、また肺炎、気管支炎及び上気道感染に対する効果¹⁾、抗ウイルス作用、下垂体前葉における LH、RH 分泌促進作用²⁾などが報告されている。特に不妊治療に対する改善効果が多く報告されている。ショウキ T-1 による脳内での神経伝達物質の変化について検討をすすめ

た。

今回我々は、脳内におけるショウキ T-1 の作用目標を特定するためシナプス間隙の nicotine acetylcholine receptors (nAChR) の変化の測定、CA (カテコールアミン) 生合成に及ぼす影響について交感神経系のモデル実験である副腎髄質培養細胞を用いて検討した。

またショウキ T-1 は不妊症やアトピー性皮膚炎など精神的ストレスによると考えられる疾患を改善するという報告がある。ストレス、精神的興奮により中枢及び末梢の

交感神経や副腎髄質において CA が生合成・分泌されているが、この過程において ショウキ T-1 が何らかの重要な役割を果たしていることが推察される。

【実験】

生後 29 日目、32 日目のラットの脳内 nicotine acetylcholine receptors(nAChR) を測定した。また nAChR については、ニコチンを加えると、nAChR に影響を与える

物質の効果が強められることが判明している。タンポポ T-1 のほかに、ニコチン (17.5 $\mu\text{g}/\mu\text{l/hr}$ 、ポンプにて皮下投与) を 3 日間投与して、生後 29, 32 日目の脳内 nAChR を測定した。

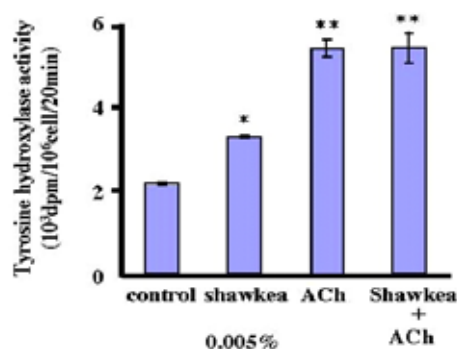
[^{14}C]チロシンからの ^{14}C カテコールアミンを Duolite C-25 カラムで分離し、液体シンチレーションカウンターで測定した。チロシン水酸化酵素 (TH) 活性は DOPA decarboxylase coupled 法にて測定した。

【結果】

生後 29, 32 日目とも、ショウキ T-1 とニコチンを投与した群は各単独投与群より著明に脳内 nAChR が増加し、生後 29 日で対照群に比べ 4.7 倍、生後 32 日で 3.9 倍を示した。ニコチン投与により、ショウキ T-1 の効果が増大されているので、ショウキ T-1 の作用対象が nAChR であることが判明した。

	29 日齢	32 日齢
対照	145(fM mg)	187(fM mg)
ショウキ T-1	290(fM mg)	504.6(fM mg)
NIC	190(fM mg)	196(fM mg)
ショウキ + NIC	681.7(fM mg)	729.2(fM mg)

ショウキ T-1 はチロシン水酸化酵素活性を促進した。



【考察】

ショウキ T-1 は脳、交感神経、副腎髄質でのカテコールアミンの生合成を促進することにより、中枢神経系の興奮作用や末梢での交感神経系を亢進することが確認された。

ショウキ T-1 には高プロラクチン血症、パーキンソン症候群による症例や、利尿作用などの症例が報告されていたが、これらはショウキ T-1 がドーパミン合成を促進することによって起こるものと考えられる。

ストレスが原因で大脳皮質から視床下部、脳下垂体に至る神経伝達の流れに異常が起きるが、今回の実験から、性ホルモンの分泌促進作用以外にも、感受性が低下しているレセプターの改善、またドーパミンの合成促進作用による、不妊治療への応用が期

待できる。

今後、ショウキ T-1 の副腎髄質における CA 合成促進作用による、腎動脈血流量促進作用が期待することが出来る。また尿量を増加させるので、泌尿器疾患への応用が期待できる。

またうつ病でみられるような、シナプス間隙でのレセプターの感受性低下、神経伝達物質の合成・分泌低下の改善が期待できる。

【症例】

27 歳 不妊歴 2 年 結婚 2 年目

妙泉堂薬局 川瀬文人

以前から生理不順であったため病院へ行ったところ、高 PRL といわれた。しかもかなり高値であったため、脳の精密検査を受けた結果、一部影があるが良性であるのでしばらく経過を見て体調が悪ければ外科的処置をとると言われた。婦人科で処方されたパーロデルとテルロンを服用したが、吐き気やめまい等の副作用が起こったため服用を中止した。これにかわるものはないかということで、来店された。

2004 年 3 月 26 日

ショウキ T-1 を 1 日 1 袋と炒麦芽を服用開始。

2004 年 6 月 25 日

妊娠反応陽性確認。経過は順調である。

生理不順

27 歳

永田永寿堂 永田麻衣

2001 年始めころから 2002 年夏にかけて一年半ほど無月経だった。まず、滋養強壮にんにくエキス、人参エキス、松葉エキス、田七人参を服用。1 ヶ月ほどで毎日生理が来るようになった。しかし、生理痛はひどく、周期もバラバラで平均 40 日だった。2003

年夏から生理前になると眠気、イライラ、肩こりなどの症状が出てきた。

2003 年 9 月

ショウキ T-1 を一日 1 袋、イソフラボン製剤の服用を始めた。

2003 年 11 月

生理前の不快症状の改善が見られた。

生理周期が 28 日と安定してきた。

2004 年 1 月

牛車腎気丸を併用。

2004 年 3 月

生理前の不快な症状が改善。

生理周期も 28 日と安定している。

【参考文献】

- 1) James A.Duke, 訳 星合 和夫 デュークグリーンファーマシー薬用植物の宝典
- 2) 邵輝 佐藤道夫 1997 年 11 月第 15 回ライフサイエンス
- 3) Yanagihara N. et al: Characterization A and catecholamine secretion by elevation of intracellular Ca^{2+} in cultured bovine adrenal medullary cells. J. Biol. Chem., 271(29):17463-17468, 1996
- 4) Yanagihara N. et al: Characterization and functional role of Leptin receptor in bovine adrenal medullary cells. Biochem. pharmacol., 59(1):1141-1145, 2000

谷口眼科 医師 長谷川治彦

一昨日、一冊の本にでくわしました。現代病は「塩」が原因だった！（著者 真島真平）よりステロイド剤、抗生物質、三白悪（米、砂糖、塩）などが原因で現代病が増えて来ているようです。

十年前の漢方診療と比べて、現在の漢方診断も変わりました。日本人の体質が変わってきているみたいです。タンポポT-1は本当によくきいているのは、確かです。タンポポT-1は解毒利尿の作用があり、現代食生活による体内に貯めた毒を尿から排出します。

糖尿病の患者は年々増え続けています。その合併症の中で糖尿病性網膜症が一番怖いんです。私は眼科医ですが、糖尿病性網膜症に関し糖尿病が安定してるにもかかわらず、レーザー光凝固でやっても網膜症が勝手に進行していることがあり、なかには失明することがあるらしいです。何か安全な良い治療法をと探した結果、タンポポT-1を選びました。糖尿病性網膜症は毛細血管レベルの細小血管症の病症で、特徴は血管透過性異常で浮腫や出血が生じます。タンポポT-1は毛細血管の血液の循環を改善し、利尿または抗炎症の効果がありますので、糖尿病性網膜症の予防または治療に効果があります。

当院には糖尿病性網膜症の早期または穏健期（前増殖網膜症）の患者にタンポポT-1を用いて治療をしました。血管新生抑制、浮腫の軽減、循環改善を確認しました。糖尿病もよくなりました。例、60代女性、タンポポT-1を飲んでから血糖値は300台から120mg/dlまで

下がりました。HbA1cも12から7まで下がりました。糖尿病性網膜症も沈静化をしました。

眼底出血には、タンポポT-1がかなり良い結果が観られました。これは高血圧性網膜症及び糖尿病性網膜症のために眼底出血を起こすことが多いです。当院数人の患者は手術の方法でなくタンポポT-1を用いて視力が回復しました。

東洋医学では目が水の集まる場所です。肝・腎と関係があります。つまり血及び水の病気です。治療としては活血利水を行います。特に糖尿病の場合は多食多飲運動の不足により体内に湿という邪気が溜まります。現在日本の社会には、洋食を中心した高カロリー食を摂入する事により東洋医学でいう湿という邪気型の糖尿病が一番見られます。当然、食品の添加物、食塩、農薬、洗剤などさまざまな化学薬品が私たちの体に害を起こします。肝臓と膵臓はもちろんやられやすいのです。たんぽぽT-1含有商品は無農薬のタンポポ原材料を使用し、一切添加物質を使用しない、色もpHも調整をしないことについて、私は大変感心しました。しかし、たんぽぽT-1は時にロットが違うために、商品内容物の色が変わることがありますから、患者から苦情が出ます。見せかけを重視する日本人は中身を忘れる行為を反省しななければいけません。

緑内障は眼圧異常により生じる視神経障害です。目は水により出来たものです。眼圧を調整するために、水を調整すれば良いと思います。タンポポT-1は房水流出を改善すると考えられます。当院緑内障の患者は劇的にタンポポT-1により改善されました。

例、40代の患者は最初眼圧が30mmHg以上でしたが、1ヶ月間タンポポT-1の治療後に眼圧は20mmHg以下になりました。タンポポT-1の使用中に点眼薬など薬の併用も問題がありません。一日に1~2袋を使います。

古代からタンポポは目の治療薬として使用しました。肝及び胆の経絡を通じて目まで届きます。結膜炎、角膜ヘルペスにも良い効果があります。当院20代男性患者は目のヘルペスで、長期間抗ウイルス剤を使用したために、角膜にキズがつかしました。タンポポT-1を3ヶ月間使用後にヘルペスウイルスがほぼ落ち着きました。

当院で虹彩炎の患者を治した例があります。虹彩炎は自然に治る場合もありますが、失明する場合があります。黄斑変性、視神経炎にたいしてタンポポT-1も効果があります。当院の50代男性患者はペレドニン、メチコパールにタンポポT-1を併用して速やかに治りました。ステロイド療法は副作用や再発を増加することがありますので、タンポポT-1の使用により避けられる可能性があります。

その他に、当院でタンポポT-1をよく使う患者さんは湿疹、アレルギー性皮膚炎の患者さんです。これらの患者は体内に毒が溜まっています。例60代男性患者は手術後に全身酷い湿疹のために痒くなり、局部感染を発病しました。ステロイド剤も効果がありませんでした。タンポポT-1と漢方薬により1ヶ月間でほぼ治りました。

関西医科大学から腎臓透析を勧められたが、患者の希望で当院において治療を行った。タンポポT-1を毎日2袋飲用したところ、2ヶ月後に同値は3.5mg/dlまで下がった。半年後に行った検査結果において同値は2.2mg/dlだった。患者の体調は良好で、時々東京へも出張する。(2002年7月号)

糖尿病性腎障害の患者にタンポポT-1を投与し、腎機能が改善された。

大阪市 谷口眼科 医師 長谷川 裕治

56歳の重症糖尿病患者で糖尿病歴は8年、網膜症・腎障害等の合併症がある。1年前に当院を受診した時、眼底出血(前増殖性網膜症)があり、HbA1c値は12.0、血清クレアチニン(S-Cr)は6.0mg/dlだった。

1年間タンポポT-1を投与した。毎日2袋を使用し、時に漢方薬の黄連解毒湯おうれんげどくとうや半夏瀉心湯はんげしゃしんとうを使用した。血糖降下剤、降血圧剤を服用している。現在、網膜症は安定し、5月の検査結果においてHbA1cは7.8、血清クレアチニン(S-Cr)は4.4mg/dlであった。体調に異常はない。タンポポT-1は糖尿病の網膜症および腎症に効果があると思う。タンポポT-1は血糖を下げる効果があるが、患者の食事制限も重要である。下記は患者の検査結果の一部である。

	5/20	6/5	7/10	8/7	10/5	12/28	3/4	5/21
HbA1c	12.0	11.1	11.8	11.5	10.0	8.9	8.8	7.8
S-Cr	6.6	5.8	5.0	5.2	4.2	4.8	4.4	4.2
眼底出血	+	+	-	-	-	-	-	-

2. 名称 ショウキ T-1

3. 原材料

乾燥タンポポ葉 1kg から抽出
鼎突多刺蟻（ていとつたしあり）
はと麦
緑茶

4. 内容量 100ml（1 袋中）

開発の経緯

邵輝(しょうき)氏(医学博士・神戸東洋医療学院講師)は大阪大学大学院在学中、大阪大学微生物病研究所にて当時の白木公康助手(現在富山医科薬科大学ウイルス教室教授)の指導を受け漢方薬の抗ウイルス効果の有無について研究しました(1988年~)。

その結果、タンポポ T-1 糖鎖という希少糖(分子量 600 以下)に非常に高い抗ウイルス効果のあることが判明し、抗 C 型肝炎ウイルスや肝機能を改善することを認めました。

大阪を中心とする東西医学融合研究会会員の先生方にショウキ T-1 を診療で使用していただく中で、婦人科、泌尿器科、眼科などのもとで効果的な報告がたくさん報告されるようになりました。